



公益財団法人 ソーシャルサービス協会だより

2017年
10月16日
事務局発行
No.15

**月次決算を軌道に乗せましょう！
4～8月の結果は下期の踏ん張りが必要！**

◎2017年度4月～8月予算(10/6現在)				予算との差異		
単位(千円)	収入実績	支出実績	損益実績	収入差異	支出差異	損益差異
せせらぎ	6,602	5,574	1,028	-563	-1,466	903
旭川	0	0	0	-333	-312	-21
青森	1,880	1,725	155	168	-110	278
仙台	6,101	5,828	273	-599	-730	131
塩釜	15,494	16,933	-1,439	-3,131	-1,250	-1,881
多摩	9,984	11,980	-1,996	-3,016	-895	-2,121
IT	19,392	20,037	-645	4,784	6,512	-1,728
京都	44,824	52,076	-7,252	-1,114	6,192	-7,306
ワーク	14,571	22,062	-7,491	-38,346	-38,152	-194
田川	3,757	4,175	-418	-1,660	-1,325	-335
福岡	724	1,044	-320	-1,093	-766	-327
宮若	545	336	209	70	-92	162
都城	11,369	11,545	-176	-381	-303	-78
本部	4,023	4,961	-938	-90	1,475	-1,565
	139,266	158,276	-19,010	-45,304	-31,222	-14,082

4～8月までの結果は、会計処理の未入力部分があり、全体を正確に把握することが出来ません。ワークセンターは清掃事業部分の会計入力はされていますが、宿泊とホームレス支援が未入力です。取らぬ狸の皮算用で、前年並みの収入と支出であれば、ワークセンターは+6,237千円となり、また多摩が毎月60万円補助金の入金を立てれば+1,000千円となり、全体では4～8月で-2,286千円となります。予算は+1,872千円ですからその乖離は-4,158千円となります。予算未達成には、京都事業所の-7,252が大きく影響しています。4～8月の結果は下期の踏ん張りが必要です。

《所長紹介》 「せせらぎ事業所」 貞廣展子 所長

平成16年よりせせらぎで勤め始め、平成20年からは所長を引継現在に至っております。当初はペーパードライバーでしたので、坂の街小樽への通勤(片道30分)・利用者宅への移動に「ぶつかると滑ると止まらない」と始終叫びながらの運転。今では吹雪も凍結路面も何のそのに！(度胸がただけで、運転技術は向上していませんが……。)



娘と名古屋にて

介護は好きな仕事と言えストレスは溜まるもの。最近の私の癒やしは、うさぎのブログを見ること。8年間暮らした愛兔が昨年亡くなってからはよそ様のうさぎちゃんのブログを見て癒されています。冬を迎える北海道も、介護業界も厳しいですが頑張っていきたいと思っております。

ホームレス自立支援の炊き出し

建交労京都の高齢者部会の「仲間」に“ホームレス自立支援炊き出し”についての記事がありました。(ワークセンターの中路米造さんによるものです) 9月9日、京都高齢者会館駐車スペースで行われ、第184回目の開催とあります。当日はホームレス53人、スタッフ20人、学生ボランティア6人で合計79人の参加者です。



コーヒーコーナーはセルフサービスで自分好みのコーヒーを煎れます。食事タイムは、あたたかい豚汁とご飯を食べながら歓談です。

「この炊き出しは、衣類の提供があるので助かる。今着ている服は、先月ここでもらったものです。いつも一人で食事をしているので、炊き出しは、知り合いと会話しながら食事できるので楽しみです」と参加者の感想。

立命大や佛教大の学生ボランティアからは、「炊き出し参加は初めてです。大変、刺激的な経験でした」「他のところにも行ったことがあるがここは初めてで、靴や衣類の提供は魅力的だと思います。男物、女物、スポン、シャツ等に整理されており感心しました」と感想が出されています。炊き出しは毎月第二(土)に行っています。

ミサイル防衛は物理的に無理！

弾道ミサイルは打ち上がると数百キロメートル以上の上空を飛ぶ。通常の地对空ミサイルや空対空ミサイルで迎撃できる高度はせいぜい数十キロ程度。これでは届かない！ミサイルが目標に向かって下降する速度は、大陸間弾道弾(ICBM)クラスで秒速約7キロ、中距離弾道弾ミサイル(IRBM)で秒速約2キロ。発見しても、間違いなく間に合わない！20メートルの長さのミサイルが秒速で2キロも飛び移動するのだ。北朝鮮が日本に届く距離のミサイル「ノドン」を200から300発配備していると言われている。一発だって迎撃できない。とても対応できるものではない。

なぜミサイル防衛が有効だとか？

「1993年夏の細川連立政権成立直後の初秋に、米側はミサイル防衛のためには14兆円を出せと要求。中西啓介防衛庁長官がこれを断った。この時期に、中西氏の政治資金をめぐる『スキャンダル』報道が激増する。(紀陽銀行の不正融資への関与や、関西国際空港建設に関連し業者から献金受領の疑惑)。中西氏は、自ら不規則発言(『半世紀前にできた憲法に、後生大事にしがみつくとはいえない』との発言)をして、その責任を取る形で、同年12月はじめに大臣を辞任する。(1995年、長男が大麻所持で逮捕されたため、衆議院議員を辞職する)

中西氏はダーティな政治家というイメージが定着した。ミサイル防衛は多額なお金が米国に流れるシステムの一つ。企業は販売に宣伝費を載せる。自動車産業は1～2%と言われている。14兆円を得るのに1400億円以上を宣伝に使っても、「ミサイル防衛は必要だ」と宣伝しても元がとれるのだ。 ※(孫崎享「これから世界はどうなるか」(ちくま新書)より)